

# かがやき

<http://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp/>

病院広報誌

Vol.41

2020 夏号

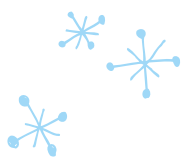


## 整形外科

脊柱変形に  
腰椎側方進入椎体間固定術(XLIF®)を  
宮城県で初めて施行しました

## 消化器外科

胃がんに対して  
ロボット支援下胃がん手術を  
導入しています



ご自由  
にお持ちください  
**TAKE FREE**

## 脊柱変形に腰椎側方進入椎体間固定術(XLIF®)を宮城県で初めて施行しました

東北医科薬科大学病院では、令和2(2020)年5月に脊柱変形に腰椎側方進入椎体間固定術(XLIF®)を宮城県で初めて施行いたしました。

高齢者人口の増加にともない様々な脊椎疾患の患者さんが増えています。なかでも加齢に伴う脊椎の変形、背筋筋力の低下により背骨が曲がり、そのために歩行や日常生活に支障をきたす人が増えています。症状が重い患者さんには手術で変形を矯正固定します。その際、大きな問題となるのが手術による患者さんの体力への負担です。

### 腰椎側方進入椎体間固定術(XLIF®)とは

側方進入椎体間固定術(eXtreme Lateral Interbody Fusion: XLIF®)は平成18(2006)年に米国のOzgur, Pimentaらによって発表された側方侵入腰椎椎体間固定術(Lateral Lumbar Interbody Fusion: LLIF)の代表的な手技で、成人脊柱変形を含む種々の腰椎疾患に手術侵襲を低減(低出血量)できる新たな手術として発展してきました。

本邦では、XLIF®手術の有効性と安全性を確保するために、本手技に関する十分な知識及び技量を有し、学会が認定したトレーニングを受講した医師のみが実施できる手技です。

### 腰椎側方進入椎体間固定術(XLIF®)の特徴

XLIF®は専用開発された開創器と光源を用いて、側方アプローチ(後腹腔経路)で椎体間固定術を行う低侵襲手技です。一般的に行われている後方からのアプローチではなく、側腹部に小切開を加え、直接椎体・椎間板に達します。モニターを見ながら側方から椎間板腔にケージを設置します。その際、専用の機器を使い神経モニタリングを行い、安全に手術を行います。大きなケージを設置することにより脊柱変形の矯正ができます。また、椎間板高を回復させることによる脊柱管の間接除圧が期待されます。



手術の様子



患者さんの側腹部より、3cm径ほどの筒を入れ椎間板にアプローチします。

XLIFの主な適応は以下の疾患です。

- 変性側弯症、後弯症
- 腰椎変性すべり症
- 脊柱管狭窄症
- 後方除圧・固定術後の再手術

整形外科 診療科長 (小澤医師) より

当院では患者さんへの負担が少ない本術式を、脊柱変形の矯正手術に用いています。脊柱変形の矯正手術には様々な手術法があります。個々の患者さんの状態に合わせて、本術式を含め様々な手術法を組み合わせ、最も効果的で負担の少ない手術を行います。

背骨が曲がり日常生活に不自由を感じている方はどうぞご相談ください。

整形外科 科長  
小澤 浩司



## 胃がんに対してロボット支援下胃がん手術を導入しています

ロボット手術とは、da Vinci（ダ・ヴィンチ）という手術支援ロボットを用いて行う内視鏡手術です。ロボット手術といっても機械が自動的に手術を行うわけではなく、あくまで手術を行うのは執刀医です。当院では、令和元年（2019年）8月より胃がんに対してロボット支援下胃がん手術を導入しています。

当院で導入されているダ・ヴィンチXiは最先端の手術支援ロボットです。1cm程度の小さな創より内視鏡カメラとロボットアームを挿入し、高度な手術を可能にします。術者は3Dモニター画面を見ながらあたかも術野に手を入れているようにロボットアームを操作して手術を行います。従来の内視鏡手術では、関節機能がなく、手術操作の制限がありました。ダ・ヴィンチは関節機能を有し、人の手のようにしなやかに鉗子が動き、さらに、人間の手ではどうしても

起こってしまう手振れを除去できる機能により、より正確な操作が可能となります。また、精細な3D映像により、微細な血管、神経、リンパ節など肉眼では認識できない構造物が明瞭に、かつ立体的に把握でき、精密で安全な手術が可能となります。

ロボット手術は、従来の内視鏡手術の利点をさらに向上させる、次世代の手術です。



手術支援ロボット (da Vinci)  
当院では最新のXiシステムを導入しています。

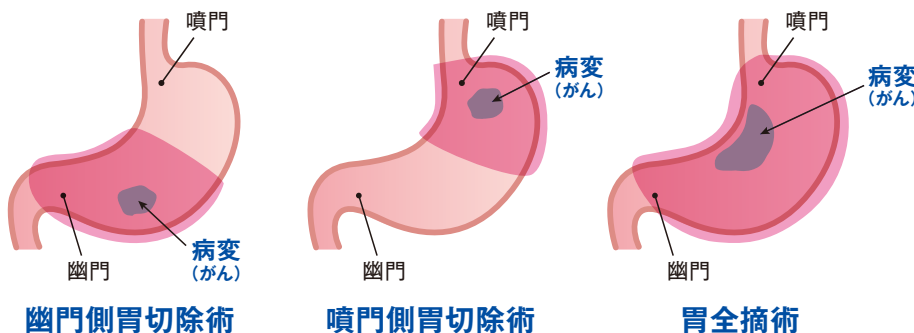
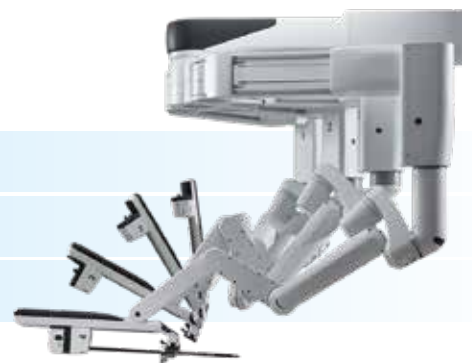


医師は「サージョンコンソール」と呼ばれる操作台に座り（上右図）、3D映像を見ながら手術を行います（上中図のロボットアームが動きます）。



現在、当院は保険適応で胃がんへのロボット手術を施行できる宮城県内唯一の施設となっています。胃がんに対しては、以下の3つのロボット支援下胃がん手術が保険適応になっています。

- ① 胃の出口側 2/3 を切除する幽門側胃切除術
- ② 胃の入口側 1/3 を切除する噴門側胃切除術
- ③ 胃を全部摘出する胃全摘術



ロボットを用いることで、身体に負担が少なく、より質の高い胃がん手術が可能となり、今後、この手術を受けられる患者さんがより一層増えていくと考えます。





# INFORMATION

当院での企画や行事、最新情報をお伝えいたします！



## 新型コロナウイルス感染症対策にご協力をお願いいたします！

当院では新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、以下の対応を実施しております。

【令和2(2020)年6月22日現在】

### 入口での検温

来院者全員に検温させていただきます。

※37.5℃以上の場合、来院せず、予約の方は8:30以降に各診療科にお問い合わせください。  
※37.5℃以上ある方は院内への立ち入りはできません。

お車やテントでお待ちいただき、診療開始前に看護師による問診を受けていただきます。

### 問診票記入

来院者全員に問診票を記入いただきます。

※可能な方は、事前に問診票を印刷し、問診票の記入・持参にご協力ください。

### マスク着用

ご来院の際は、必ずマスク着用をお願い申し上げます。

※マスクがない場合は、ハンカチ等で口をふさぎ来院してください。

ご自宅等



来院前に  
ご確認を！

東北医科薬科大学病院



チェック  
①

検温



※37.5℃以上の場合、  
来院をお控えください。

チェック  
②

問診票



※可能な方は、印刷・記入・  
持参にご協力ください。

チェック  
③

マスク



※マスクがない場合は、  
ハンカチ等で口をふさぎ  
来院ください。

問診票を事前に印刷できる方は  
こちらから

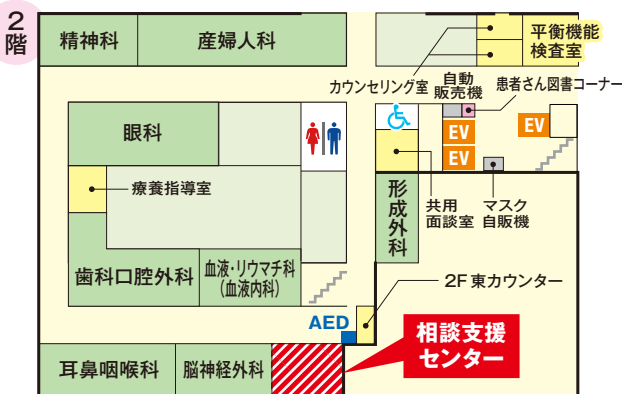


なお、当院の対応は  
新型コロナウイルスの感染状況により  
随時更新されます。  
ご理解とご協力をお願い申し上げます。



## 相談支援センター

当院では、医療費などの経済的なことや治療上的なことなど、病気に関わるご不安やお悩みを少しでも和らげられるよう、相談窓口を設置しております。どこに相談したらいいのかわからないとお困りの際には、お気軽に下記までご相談ください。



◆日時：月～金曜日(祝日、年末年始を除く)  
8:30～17:15  
◆TEL：022-259-1221(代表)

ケータイ・スマホの方はこちらからもアクセス！



## 医学部生臨床実習ご協力のお願い

東北医科薬科大学病院および若林病院では、令和元年(2019年)10月より、本学医学部4年生による臨床実習が始まりました。

医学生は診療チーム・主治医の一員となり、指導医と一緒に診療に参加します。

医学生が診療行為を行う際には、指導医から患者さんに「同意書」の記載をお願いする場合がございます。

指導医は、患者さんの安心・安全を確保しつつ学生の指導を行うとともに、最善の医療を提供できるように、より一層努めてまいりますので、この臨床実習へのご理解ご協力をお願い申し上げます。

## アンケートご協力のお願い

今後の「かがやき」制作の参考にさせていただきたくアンケートを実施しております。お手持ちのケータイ・スマホから右側のQRコードを読み込み、回答フォームに入力をお願いします。

